



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場取引所 名

上場会社名 名工建設株式会社

コード番号 1869 URL <http://www.meikokensetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増永 防夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 宗宮 省造

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 052-589-1504

平成23年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	31,962	9.9	106	△62.9	185	△49.7	33	△75.4
23年3月期第2四半期	29,087	0.1	287	—	368	—	134	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 △45百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △469百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.34	—
23年3月期第2四半期	5.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	56,904	20,982	20,982	21,155	35.8	824.28
23年3月期	59,017	21,155	21,155	—	34.8	831.20

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 20,347百万円 23年3月期 20,519百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	3.9	2,000	△7.0	2,100	△6.8	1,100	△18.6	44.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	27,060,000 株	23年3月期	27,060,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	2,374,245 株	23年3月期	2,372,922 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	24,686,584 株	23年3月期2Q	24,710,673 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び計画に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等によって予想値と異なる場合があります。

## 【参考】個別業績の概要

(1) 平成24年3月期第2四半期の個別業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

## a. 個別経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	31,273	9.1	159	△65.7	235	△57.0	94	△63.5
23年3月期第2四半期	28,660	0.3	466	—	546	—	257	—

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
24年3月期第2四半期	3.81
23年3月期第2四半期	10.44

## b. 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	56,222	20,122	35.8
23年3月期	57,914	20,234	34.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 20,122 百万円 23年3月期 20,234 百万円

(注) 上記個別業績は、四半期財務諸表規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 平成24年3月期の個別業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,500	2.9	2,100	△6.8	1,100	△18.2	44.56

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 個別業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

<添付資料>

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 連結財務諸表等	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	
(1) (個別) 四半期貸借対照表	11
(2) (個別) 四半期損益計算書	13
(3) 四半期個別受注の概況	14

## 1. 当四半期に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災による国内経済の停滞は回復が見られるものの、原発事故に伴う電力供給問題、欧米における金融不安の拡大と円高、株安等の影響による市場の低迷が続いており、先行きは極めて不透明な状況となっております。

建設業界におきましても、市場規模の縮小トレンドは変わらず、依然として厳しい状況が続いております。

このような情勢下、当社グループは、安全と品質確保並びに技術力の向上を重点に事業活動を積極的に進めてまいりましたが、当第2四半期の連結業績は、売上高は31,962百万円（前年同期比2,874百万円増加）となりました。利益におきましては、営業利益が106百万円（同181百万円減少）、経常利益は185百万円（同183百万円減少）で四半期純利益は33百万円（同101百万円減少）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期における総資産は、前連結会計年度末に比べ売掛債権の回収に伴い受取手形・完成工事未収入金等が大幅に減少したことにより2,112百万円減少して56,904百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が90百万円減少、その他有価証券評価差額金で80百万円減少したことなどにより、172百万円減の20,982百万円となりました。この結果、自己資本比率は35.8%、1株当たり純資産は824円28銭となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは3,687百万円の減少となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が105百万円、売上債権の回収による受取手形・完成工事未収入金等の減少が1,435百万円等の収入要因がありましたが、仕入債務の減少5,290百万円、未成工事支出金の増加887百万円、法人税等の支払い220百万円等の支出要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは251百万円の減少となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入51百万円と有形固定資産の取得による支出326百万円などであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは4,173百万円の増加となりました。主な要因は、借入金の増加4,300百万円、配当金の支払い123百万円などです。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ234百万円増加し、2,112百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今年度通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の連結業績予想については平成23年5月13日に公表しました通りであります。

## 2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

### 1. 税金費用の算定方法

税金費用の算定については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,878	2,112
受取手形・完成工事未収入金等	30,410	28,975
未成工事支出金	1,014	1,902
その他のたな卸資産	580	496
繰延税金資産	765	769
その他	2,308	1,146
貸倒引当金	△523	△311
流動資産合計	36,434	35,090
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	6,240	6,116
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	898	846
土地	5,189	5,214
リース資産	4	4
建設仮勘定	86	89
有形固定資産合計	12,419	12,271
無形固定資産		
ソフトウェア	282	232
その他	170	151
無形固定資産合計	452	383
投資その他の資産		
投資有価証券	8,164	7,914
その他	1,759	1,561
貸倒引当金	△213	△318
投資その他の資産合計	9,710	9,158
固定資産合計	22,582	21,813
資産合計	59,017	56,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	19,831	14,686
短期借入金	6,200	13,500
未払法人税等	216	97
未成工事受入金	1,663	1,481
完成工事補償引当金	19	20
工事損失引当金	88	72
賞与引当金	1,279	855
役員賞与引当金	40	17
その他	1,451	1,181
流動負債合計	30,791	31,912
固定負債		
長期借入金	5,700	2,700
繰延税金負債	1,006	951
退職給付引当金	27	31
役員退職慰労引当金	66	61
その他	269	265
固定負債合計	7,070	4,009
負債合計	37,861	35,921
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,594	1,594
資本剰余金	1,854	1,854
利益剰余金	17,675	17,585
自己株式	△1,238	△1,238
株主資本合計	19,886	19,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633	552
その他の包括利益累計額合計	633	552
少数株主持分	635	635
純資産合計	21,155	20,982
負債純資産合計	59,017	56,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	29,087	31,962
売上原価	26,317	29,557
売上総利益	2,769	2,404
販売費及び一般管理費	2,481	2,297
営業利益	287	106
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	92	94
受取地代家賃	42	38
その他	35	25
営業外収益合計	169	157
営業外費用		
支払利息	78	68
その他	10	10
営業外費用合計	88	79
経常利益	368	185
特別利益		
前期損益修正益	109	—
投資有価証券売却益	19	32
その他	0	2
特別利益合計	129	34
特別損失		
前期損益修正損	5	—
固定資産除却損	1	12
投資有価証券評価損	199	97
その他	1	4
特別損失合計	207	114
税金等調整前四半期純利益	291	105
法人税等	157	72
少数株主損益調整前四半期純利益	133	33
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	134	33

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	133	33
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△602	△79
その他の包括利益合計	△602	△79
四半期包括利益	△469	△45
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△463	△47
少数株主に係る四半期包括利益	△5	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	291	105
減価償却費	514	522
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△63	△107
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△18	△15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△262	△424
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22	△22
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△0	△4
受取利息及び受取配当金	△92	△94
支払利息	78	68
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△19	△32
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	199	97
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△1
有形固定資産除却損	1	12
売上債権の増減額 (△は増加)	6,744	1,435
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△1,644	△887
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	39	84
その他の資産の増減額 (△は増加)	△232	1,341
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,279	△5,290
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	644	△182
その他の負債の増減額 (△は減少)	△204	△104
その他	△9	3
小計	664	△3,492
利息及び配当金の受取額	92	94
利息の支払額	△77	△69
法人税等の支払額	△1,056	△220
営業活動によるキャッシュ・フロー	△377	△3,687

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△418	△326
有形固定資産の売却による収入	39	35
固定資産の除却による支出	—	△1
無形固定資産の取得による支出	△181	△9
投資有価証券の取得による支出	△3	△0
投資有価証券の売却による収入	124	51
貸付けによる支出	△43	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△483	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,595	4,300
長期借入れによる収入	300	200
長期借入金の返済による支出	△1,000	△200
自己株式の取得による支出	△19	△0
配当金の支払額	△123	△123
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	749	4,173
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111	234
現金及び現金同等物の期首残高	2,785	1,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,673	2,112

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 個別四半期貸借対照表

(単位 百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,632	1,842
受取手形	19	144
完成工事未収入金	30,178	28,745
販売用不動産	515	435
未成工事支出金	563	1,627
材料貯蔵品	53	51
前払費用	62	68
繰延税金資産	739	739
未収入金	981	231
立替金	987	697
その他	266	249
貸倒引当金	△518	△309
流動資産合計	35,482	34,524
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,963	5,847
構築物(純額)	186	173
機械及び装置(純額)	518	447
車両運搬具(純額)	29	30
工具器具・備品(純額)	348	367
土地	5,080	5,107
リース資産(純額)	4	4
建設仮勘定	86	89
有形固定資産合計	12,217	12,068
無形固定資産		
ソフトウェア	282	232
その他	20	20
無形固定資産合計	302	252
投資その他の資産		
投資有価証券	8,019	7,786
関係会社株式	247	240
長期貸付金	206	205
長期前払費用	1,106	922
その他	546	536
貸倒引当金	△213	△313
投資その他の資産合計	9,912	9,377
固定資産合計	22,432	21,698
資産合計	57,914	56,222

(単位 百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	2,904	2,099
工事未払金	16,665	12,489
短期借入金	6,745	14,055
未払金	388	269
未払費用	197	191
未払法人税等	191	95
未成工事受入金	1,436	1,386
預り金	585	452
完成工事補償引当金	19	20
工事損失引当金	70	72
賞与引当金	1,243	818
役員賞与引当金	33	10
その他	229	229
流動負債合計	30,710	32,191
固定負債		
長期借入金	5,700	2,700
繰延税金負債	1,001	945
その他	268	264
固定負債合計	6,970	3,909
負債合計	37,680	36,100
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,594	1,594
資本剰余金		
資本準備金	1,746	1,746
その他資本剰余金	4	4
資本剰余金合計	1,751	1,751
利益剰余金		
利益準備金	398	398
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	277	277
別途積立金	15,035	16,035
繰越利益剰余金	1,783	753
利益剰余金合計	17,493	17,464
自己株式	△1,238	△1,238
株主資本合計	19,601	19,571
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	632	550
評価・換算差額等合計	632	550
純資産合計	20,234	20,122
負債純資産合計	57,914	56,222

## (2) 個別四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位 百万円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	(自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)		(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)	
売上高		28,660		31,273
売上原価		25,880		28,968
売上総利益		2,779		2,305
販売費及び一般管理費		2,313		2,145
営業利益		466		159
営業外収益				
受取利息		1		1
受取配当金		92		94
受取地代家賃		46		41
その他		30		17
営業外収益合計		170		155
営業外費用				
支払利息		79		70
その他		10		10
営業外費用合計		89		80
経常利益		546		235
特別利益				
前期損益修正益		108		—
投資有価証券売却益		19		32
その他		0		1
特別利益合計		128		34
特別損失				
前期損益修正損		5		—
固定資産除却損		1		12
投資有価証券評価損		199		83
その他		1		4
特別損失合計		206		100
税引前四半期純利益		468		168
法人税等		211		74
四半期純利益		257		94

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## 「参考」

## 四半期個別受注の概況

## (1) 個別受注実績

	受注高	
平成24年3月期第2四半期	23,679 百万円	△31.6 %
平成23年3月期第2四半期	34,604 百万円	34.1 %

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、前年同四半期比増減率

## (参考) 受注実績内訳

(単位 百万円)

区 分	平成23年3月期		平成24年3月期		比較増減	増減率
	第2四半期	構成比	第2四半期	構成比		
		%		%		%
土木	18,613	53.8	14,481	61.2	△4,131	△22.2
建築	15,991	46.2	9,198	38.8	△6,793	△42.5
計	34,604	100.0	23,679	100.0	△10,924	△31.6
官公庁	7,231	20.9	2,830	12.0	△4,401	△60.9
鉄道関係	17,857	51.6	12,574	53.1	△5,282	△29.6
民間	9,515	27.5	8,275	34.9	△1,240	△13.0
計	34,604	100.0	23,679	100.0	△10,924	△31.6

## (2) 個別受注予想

	通 期	
平成24年3月期予想	75,000 百万円	△0.6 %
平成23年3月期実績	75,449 百万円	8.9 %

## 【個別受注実績及び個別受注予想に関する定性的情報等】

第2四半期の受注実績については、前年第2四半期に比べ部門別・発注者別共に減少し、総額で31.6%減の23,679百万円となりました。

第2四半期・通期の受注予想については、平成23年5月13日に発表したものと変更ありません。

※ 上記予想は、発表日現在入手可能な情報に基づき当社が予測したものであり、実際の受注は、経済情勢等の様々な要因により変動する可能性があります。  
せん。

平成24年3月期 第2四半期決算発表

1. 全体概況

(単位:百万円)

期	68	69	70	71	前年比	期初計画
年度	20/9	21/9	22/9	23/9		
受注高	25,640	26,265	35,177	24,108	△11,069	33,000
売上高	24,047	29,051	29,087	31,962	2,874	31,000
営業利益	△567	△180	287	106	△181	170
経常利益	△441	△111	368	185	△183	240
四半期純利益	△415	△49	134	33	△101	130

- (1) 当第2四半期累計期間(以下、中間期、あるいは上期といいます)の受注は、前年比11,069百万円(31.5%)減少し24,108百万円となりました。主な減少要因は、受注環境が従来にも増して厳しかったことと、前年の受注高が著しく好調であったことの反落事象であります。
- (2) 売上高は期初手持工事高の増加等により、前年比2,874百万円(9.9%)増加し31,962百万円となりました。  
売上高の内訳は、完工高が31,640百万円(前年比2,963百万円、10.3%増加)、兼業事業売上高が322百万円(前年比88百万円、21.6%減少)であります。
- (3) 売上総利益は、前年比365百万円(13.2%)減少して2,404百万円となりました。  
減少要因は、工事利益率が低下して完成工事総利益が前年比273百万円減少したことと、兼業事業総利益も前年比92百万円減少したことにあります。  
なお、工事利益率の低下要因は完成工事高に占める低採算工事の割合が大きかったことにあります。
- (4) 販売費及び一般管理費は、経費節減や貸倒引当金の戻入などにより前年比184百万円減少しました。この結果、営業利益は前年比181百万円減少して106百万円となりました。  
営業外収支の黒字額は78百万円(前年比2百万円減少)となりましたので、経常利益は前年比183百万円減少して185百万円となりました。
- (5) 特別損益では、有価証券売却益32百万円、有価証券評価損97百万円などが発生し、差引き79百万円の損失となりました。  
以上の結果、税金等調整前当期純利益は105百万円(前年比185百万円減少)、当期純利益は33百万円(同101百万円減少)となりました。

## 2. 発注者別の受注・売上状況

### (1) 受注高

(単位: 百万円、%)

	21/上期	構成比	22/上期	構成比	23/上期	構成比	前年比
官公庁	6,319	24.1	7,269	20.7	2,892	12.0	△4,376
鉄道関係	13,064	49.7	17,857	50.8	12,574	52.2	△5,282
民間	6,882	26.2	10,050	28.5	8,640	35.8	△1,409
計	26,265	100	35,177	100	24,108	100	△11,069

- ・当中間期の発注者別受注内訳は、前年同期と比べると、3部門ともに減少しましたが、とりわけ官公庁の受注が大きく減少しました。
- ・全般的に受注環境は厳しさが増してきており、今後の受注確保は容易ではありませんが、鉄道関係の受注に加え官公庁と民間部門の受注活動を強化し、期初計画の達成に努めます。

### (2) 売上高

(単位: 百万円、%)

	21/上期	構成比	22/上期	構成比	23/上期	構成比	前年比
官公庁	3,392	11.8	4,765	16.6	5,574	17.6	808
鉄道関係	15,602	54.1	17,835	62.2	17,555	55.5	△280
民間	9,844	34.1	6,075	21.2	8,510	26.9	2,434
小計	28,839	100	28,676	100	31,640	100	2,963
兼業売上	211	—	411	—	322	—	△88
合計	29,051	—	29,087	—	31,962	—	2,874

- ・官公庁は、前年度の受注増加を反映して、今期の売上高が増加しました。
- ・鉄道関係は、堅調な受注に支えられて高水準の売上高を確保できました。
- ・民間は、前年度の受注増加を反映して、今期の売上高が大きく増加しました。

### 3. 財政状態

	22/9	23/3	23/9	年間増減
総資産(百万円)	55,425	59,017	56,904	1,479
純資産(百万円)	19,714	21,155	20,982	1,268
自己資本比率(%)	34.4	34.8	35.8	1.4
1株当たり純資産(円)	773.04	831.20	824.28	51.24

- ・当第2四半期末の総資産は、前年同期比では、売上高増加に伴い完成工事未収入金等が増加(3,108百万円)しましたので、その他の各種資産は総じて減少しましたが、全体では1,479百万円の増加となりました。
- ・当第2四半期末の純資産は、前年同期比では純利益増加に伴う利益剰余金の増加(1,004百万円)や、鉄道・建設関連の保有株価が回復し「その他有価証券評価差額金」も増加(259百万円)しましたので、全体では1,268百万円増加しました。  
今期中でみますと、配当金支払いのほか、株価下落により「その他有価証券評価差額金」が82百万円減少しましたので、純資産は172百万円減少しました。
- ・以上の結果、当第2四半期末の自己資本比率は前年比1.4%向上して35.8%となり、1株当たり純資産は同51.24円増加して824.28円となりました。

### 4. 通期の見込み

(単位:百万円)

	23/3期	24/3期見通し		
	実績	当初	今回	増減
受注高	76,659	76,500	76,500	0
売上高	74,106	77,000	77,000	0
営業利益	2,150	2,000	2,000	0
経常利益	2,252	2,100	2,100	0
当期純利益	1,352	1,100	1,100	0
1株当たり配当金	5+5円	5+5円	5+5円	0

- ・受注高、売上高、利益ともに、修正・変更はありません。
- ・第2四半期までの進行状況では、受注高は当初計画を下回って推移しておりますが、今後の挽回を見込んでおります。
- ・売上高は当初計画を若干上回って推移しておりますが、概ね計画通りとなる見通しです。
- ・営業利益・経常利益・当期純利益は当初計画を下回って推移しておりますが、今後の採算向上が期待できますので、通期の見通しは変更ありません。
- ・配当については、今年度も安定収益の確保を見込むことができ、十分な配当原資もありますので、計画通り中間・期末の合計で10円配当を継続する予定です。

以 上